

2017 年 10 月 3 日

ワークシフト・ソリューションズ株式会社

帝京大学との産学連携調査の結果報告

10 月 3 日（火）ワークシフトは

帝京大学との第 1 回産学連携調査の結果を公表いたしました。

ワークシフト・ソリューションズ株式会社（以下、ワークシフト社）と帝京大学の産学連携研究の一環として、クラウドソーシングの利用企業に関する調査を実施しました。

この結果、

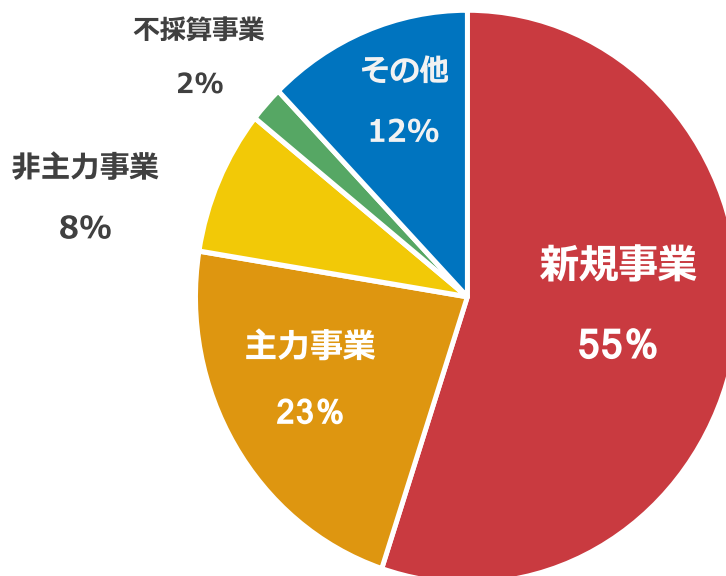
- ① クラウドソーシングは、**新規事業や一時的な業務において多く活用されている**
- ② 自社に不足する**経営資源を補う**ことがクラウドソーシングの大きな役割となっている
- ③ **コスト削減や仕事のスピードアップ**を通じて企業の**生産性向上にも寄与している**
- ④ **主力事業では、コスト削減のために現場レベルで利用**されることが多く、前向きな経営戦略としての活用は十分でない

ことが明らかになりました。

◆クラウドソーシングは新規事業が中心

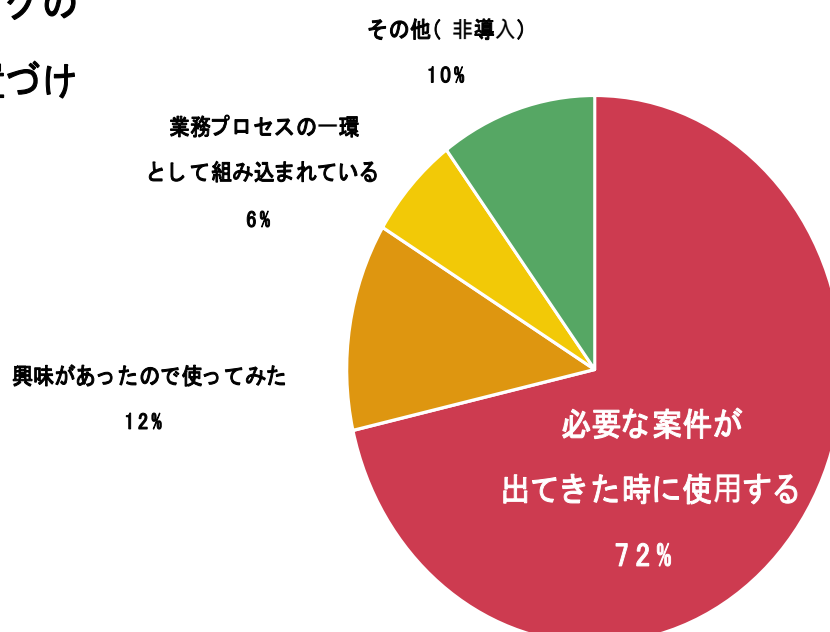
クラウドソーシングを導入した事業分野は、**新規事業が 54%と最も多く**、次いで主力事業が 22%となっており、積極的な企業活動の中で活用されていることがわかります。

事業分野別 クラウドソーシング導入率



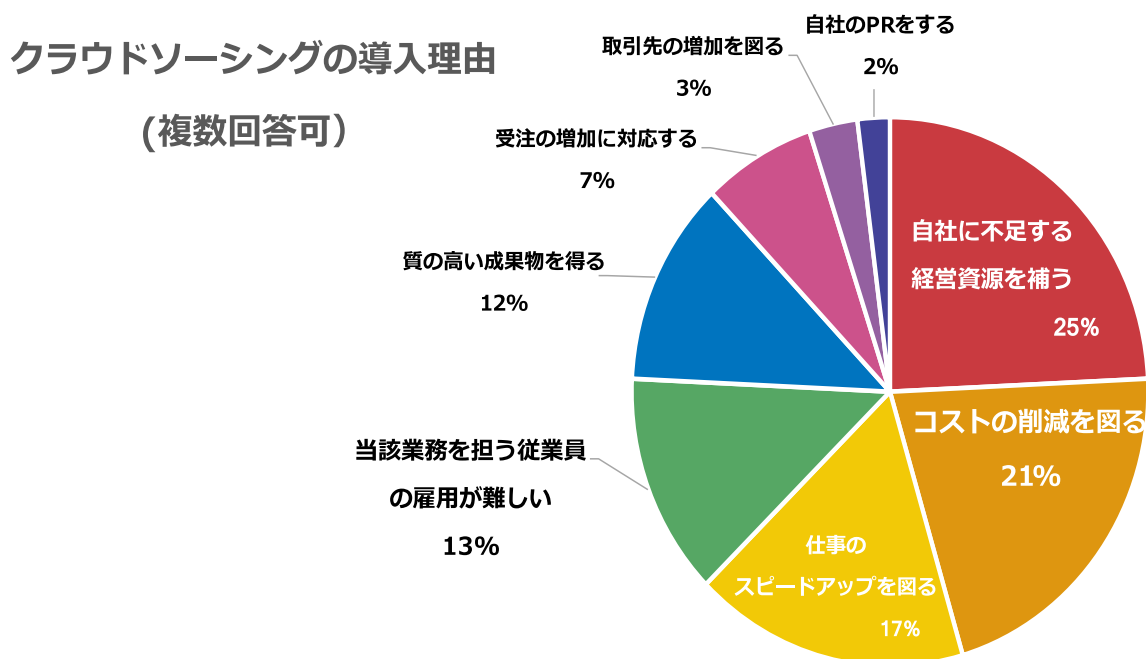
また、社内におけるクラウドソーシングの位置づけを見ると、「必要な案件が出てきた時に利用する」が70%を占めており、業務拡大時の一時的な対応としての位置づけになっています。

クラウドソーシングの 企業における位置づけ



◆企業経営からみての強みは経営資源の補完がトップ。コストやスピード面での生産性向上も

クラウドソーシングを利用したあるいは今後利用したいと回答した人を対象に、クラウドソーシングを利用した(したい)企業経営の観点からの理由を聞いたところ、経営資源の補足 (62%)、コスト削減 (54%)、仕事のスピードアップ (44%) という結果になりました。



◆主力事業では生産性向上を意識。経営資源の補完は主力・新規ともに重要視

主力事業にクラウドソーシングを利用している場合、導入理由にコスト削減 (73%)や仕事のスピードアップを図るためとする回答が多く (45%)、主力事業における生産性の向上のためにクラウドソーシングが活用されていることがわかります。一方、自社に足りない経営資源を補うためにクラウドソーシングを導入しているとする回答は、事業分野に関係なく半数近く (主力事業：55%、新規事業：48%) あり、経営資源の補完はクラウドソーシングの大きな役割であることがわかります。

事業分野によるクラウドソーシング利用理由の違い

| | 主力事業 | 新規事業 |
|---------------------------|------|------|
| 自社に不足する経営資源を補う | 55% | 48% |
| コストの削減を図る* (* : $p<0.1$) | 73% | 41% |
| 仕事のスピードアップを図る | 45% | 30% |
| 当該業務を担う従業員の雇用が難しい | 36% | 33% |
| 質の高い成果物を得る | 36% | 30% |
| 受注の増加に対応する | 27% | 15% |
| 取引先の増加を図る | 9% | 7% |
| 自社のPRをする | 9% | 4% |

◆導入の意志決定は新規事業：部門・部署レベル、主力事業：社員個人レベル

クラウドソーシング導入の意思決定に関して、新規事業の場合では過半数（52%）の企業が部門・部署レベルで意思決定を行っています。これに対し、主力事業の場合は、社員個人レベルでの意思決定や案件により意思決定が異なる場合が多くなっています。

事業分野によるクラウドソーシング依頼意思決定の違い

| | 主力事業 | 新規事業 |
|--------------------------|------|------|
| 会社レベル | 18% | 15% |
| 部門・部署レベル* (* : $p<0.1$) | 18% | 52% |
| 社員個人レベル | 27% | 11% |
| 案件による | 36% | 19% |
| わからない | 0% | 4% |

近年、クラウドソーシングの活用は新規事業分野を中心に広がりつつあります。しかしながら今後は、クラウドソーシングが企業の主力事業においても、単なるコスト削減策でなく高品質な成果の達成など前向きな企業戦略として、より一層活用されることが期待されます。

調査内容の詳細は、ワークシフト上の「<https://workshift-sol.com/assets/img/press/20171003-zenbun.pdf>」ページよ

り、ご覧いただけます。

※上記の調査結果をご使用の際は、出典元へのリンクをお願いいたします。

■ ワークシフト・ソリューションズ株式会社について

「働き方を変え、世界を一つに」の経営理念のもと、インターネット上で簡単に仕事を依頼できる、グローバルなクラウドソーシング事業を運営しています。海外との取引で障害となる言葉の壁は、各ページに翻訳ツールを装備し且つサイト全体を多言語化することで、より気軽に海外へ仕事が依頼できるように工夫しています。また、登録しているフリーランサーは、日本での留学経験や日本語の学習経験があり、高学歴な人材が数多く登録しているのが特徴です。更に、サービスの基軸通貨が日本円なので、海外在住の人材に仕事を依頼しても為替リスクや面倒な海外送金を気にする必要はありません。

サービスサイト URL : <https://workshift-sol.com/>

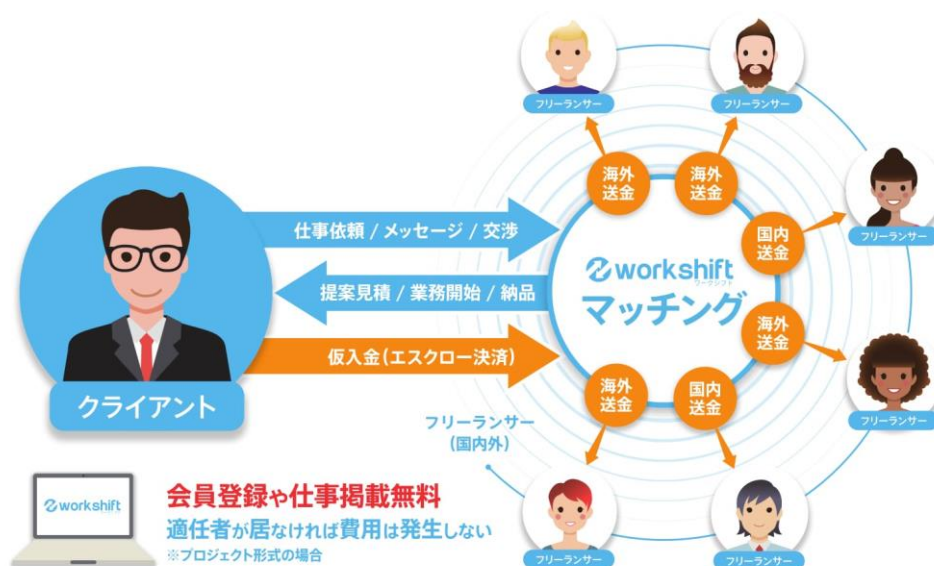
会社概要 URL: <http://workshift-sol.co.jp/>

世界159カ国 フリーランサー登録 55,000人以上

日本最大級の外国人登録者数



場所・時間・言語を超えて、Web上ですべてを完結できる



会員登録や仕事掲載無料
適任者が居なければ費用は発生しない
※プロジェクト形式の場合

プラットフォームの運営

自動翻訳・多言語サイト

海外送金・エスクロ業務

カスタマーサポート

<リリースに関するお問い合わせ>

◆ワークシフト・ソリューションズ株式

ワークシフト広報室：03-6451-1693